

和洋女大 ○川村 一男
田口 秀子
宮川 豊美

先回の本総会において演者らは、化学合成繊維衣類を着用すると、その静電気の影響によって、血液 pH の上昇、血清 Ca の減少（尿 Ca 排泄の増加）、血糖上昇、血清ビタミン C の減少が著明に見られることから、自律神経系及び内分泌系への影響のあることを指摘した。かようなことから静電気の生体への影響について追究する必要に迫られ、現在実験中であるが、化合繊維衣類着用により著明な変化を示した前述の各因子について、いささかの結果を得たので報告する。

被験者は、学寮居住の女子学生で、朝食前に採血が完了出来るようになした。静電気発生装置は松下電工製（ナショナル健康器）を用い、400～460V の正及び負の電位を30分間被験者に別々に負荷し、その直前、直後に採血を行ない分析し、対照群（9例）と比較した。その結果
1) pH は負の電位を与えた場合、33例中、22例上昇、4例減少、他は変化なく、正電位の場合は10例中、すべて変化はない。

2) 血糖は負電位では33例中13例に増加を来たし、1例減少で他は見るべき変化なく、正電位では1例増1例減で影響は少ない。

3) 血清 Ca は負電位で著明な減少を見た者、33例中11例、上昇2例、他は著明な変化は認められず、正電位では全例著変なし。

4) 血清ビタミン C は、負電位では増加33例中2例、減少せる者2例であり、正電位の場合は10例中、増加1例、減少1例であった。